

平成29年度 財政状況資料集

総括表 (市町村)

都道府県名	千葉県		市町村類型	I - 1	指定団体等の指定状況		区分		平成29年度(千円)	平成28年度(千円)	区分		平成29年度(千円・%)	平成28年度(千円・%)					
					財政健全化等	×	歳入総額	15,080,280			15,243,715	実質収支比率			7.2	6.7			
市町村名	匝瑳市		地方交付税種地	I-1	財源超過	×	歳入総額	14,377,581	14,517,555	経常収支比率	90.4	89.7	(95.7)	(94.9)					
					首都	×	歳入歳出差引	702,699	726,160	(※1)									
					近畿	×	翌年度に繰越すべき財源	9,614	75,567	標準財政規模	9,662,494	9,717,226							
					中部	×	実質収支	693,085	650,593	財政力指数	0.48	0.49							
人口	27年国調(人)	37,261	産業構造(※5)		過疎	×	単年度収支	42,492	-569	公債費負担比率	14.1	13.1							
	22年国調(人)	39,814			山振	×	積立金	704	1,742	健全化判断比率									
	増減率(%)	-6.4			低開発	○	繰上償還金	0	0	実質赤字比率	-	-							
住民基本台帳人口(※7)	30.01.01(人)	37,207	第1次	27年国調	2,782	22年国調	2,447	低開発	○	積立金取崩し額	320,000	300,000	連結実質赤字比率	-	-				
	うち日本人(人)	36,766		指数表選定	○	実質単年度収支	-276,804	-298,827	実質公債費比率	5.6	5.2								
	29.01.01(人)	37,709	第2次	15.5	13.9	基準財政収入額	3,808,666	3,814,380	資金不足比率(※4)										
	うち日本人(人)	37,262		4,446	4,510		基準財政需要額	7,879,514	7,896,304										
	増減率(%)	-1.3	24.7	25.6	標準税収入額等		4,827,311	4,804,725											
	うち日本人(%)	-1.3	10,740	10,649	経常経費充当一般財源等		8,872,129	8,770,048											
面積(km ²)	101.52	59.8	60.5	歳入一般財源等	11,025,268		11,017,479												
人口密度(人/km ²)	367																		
世帯数(世帯)	12,712																		
職員の状況(※8)																			
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	16,718,232	17,079,021								
	市区町村長	1	7,020		一般職員	256	795,136	3,106	うち公的資金	14,863,885	14,988,865								
	副市区町村長	1	6,318		うち消防職員	-	-	-	債務負担行為額(支出予定額)	969,333	1,112,921								
	教育長	1	5,748		うち技能労務職員	9	28,872	3,208	収益事業収入	-	-								
	議会議長	1	3,900		教育公務員	19	66,391	3,494	土地開発基金現在高	219,086	219,085								
	議会副議長	1	3,600		臨時職員	-	-	-	財政調整基金	3,057,477	3,050,773								
	議会議員	18	3,350		合計	275	861,527	3,133	積立金現在高	154,705	154,690								
					ラスパイレシ指数			101.9	その他特定目的基金	2,209,494	2,179,016								
	一般会計等の一覧																		
	項番	会計名	事業会計の一覧		項番	会計名	公営企業(法適)の一覧	項番	会計名	公営企業(法非適)の一覧	項番				会計名	関係する一部事務組合等一覧	組合等名	地方公社・第三セクター等一覧	項番
(1)	一般会計	(2)	国民健康保険特別会計	(5)	病院事業会計	(6)	匝瑳市横芝光町消防組合(一般会計)	(16)	ふれあいパーク八日市場										
		(3)	介護保険特別会計			(7)	八咫水道企業団(水道事業会計)												
		(4)	後期高齢者医療特別会計			(8)	匝瑳市ほか二町環境衛生組合(一般会計)												
						(9)	東総衛生組合(一般会計)												
						(10)	九十九里地域水道企業団(水道用供水供給事業会計)												
						(11)	東総地区広域市町村圏事務組合(一般会計)												
						(12)	東総地区広域市町村圏事務組合(東総地区ふるさと市町村圏事業特別会計)												
						(13)	東総地区広域市町村圏事務組合(一般廃棄物処理事業特別会計)												
						(14)	千葉県市町村総合事務組合(一般会計)												
						(15)	千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治会館管理運営特別会計)												

(注釈) ※1: 経常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
 ※3: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。
 ※6: 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「1人あたり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。
 ※7: 人口については、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※8: 職員の状況については、地方公務員給与実態調査に基づくものであるが、当該資料作成時点(平成31年1月末時点)において平成30年調査結果が未公表であるため、前年度の数値を引用している。

(1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の状況(単位:千円・%)				地方税の状況(単位:千円・%)				歳出の状況(単位:千円・%)						
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	目的別歳出の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	区分	収入済額	構成比	超過課税分	区分	決算額(A)	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
地方税	3,932,329	26.1	3,932,329	42.4	普通税	3,932,329	100.0	10,809	議会費	192,692	1.3	-	192,692	-
地方譲与税	213,457	1.4	213,457	2.3	法定普通税	3,932,329	100.0	10,809	総務費	1,692,187	11.8	24,312	1,439,890	1,439,890
利子割交付金	5,624	0.0	5,624	0.1	市町村民税	1,854,946	47.2	10,809	民生費	5,232,267	36.4	185,065	2,553,284	2,553,284
配当割交付金	21,593	0.1	21,593	0.2	個人均等割	63,668	1.6	-	衛生費	1,707,250	11.9	14,140	1,602,090	1,602,090
株式等譲渡所得割交付金	25,187	0.2	25,187	0.3	所得割	1,539,780	39.2	-	労働費	-	-	-	-	-
分離課税所得割交付金	-	-	-	-	法人均等割	92,343	2.3	-	農林水産業費	552,994	3.8	185,348	330,050	330,050
道府県民税所得割臨時交付金	-	-	-	-	法人税割	159,155	4.0	10,809	商工費	222,106	1.5	22,931	127,258	127,258
地方消費税交付金	622,687	4.1	622,687	6.7	固定資産税	1,703,142	43.3	-	土木費	806,412	5.6	451,207	654,699	654,699
ゴルフ場利用税交付金	-	-	-	-	うち純固定資産税	1,702,806	43.3	-	消防費	772,905	5.4	104,487	685,111	685,111
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	109,714	2.8	-	教育費	1,640,693	11.4	436,915	1,179,420	1,179,420
自動車取得税交付金	-	-	-	-	市町村たばこ税	258,269	6.6	-	災害復旧費	5,468	0.0	-	5,468	5,468
軽油引取税交付金	-	-	-	-	釧産税	-	-	-	公債費	1,552,607	10.8	-	1,552,607	1,552,607
地方特別交付金	15,261	0.1	15,261	0.2	特別土地保有税	6,258	0.2	-	諸支出金	-	-	-	-	-
地方交付税	4,780,003	31.7	4,292,822	46.3	法定外普通税	-	-	-	前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
普通交付税	4,292,822	28.5	4,292,822	46.3	目的税	-	-	-	歳出合計	14,377,581	100.0	1,424,405	10,322,569	10,322,569
特別交付税	461,140	3.1	-	-	法定目的税	-	-	-						
震災復興特別交付税	26,041	0.2	-	-	入湯税	-	-	-						
(一般財源計)	9,701,037	64.3	9,213,856	99.4	事業所税	-	-	-						
交通安全対策特別交付金	6,369	0.0	6,369	0.1	都市計画税	-	-	-						
分担金・負担金	149,812	1.0	-	-	水利地益税等	-	-	-						
使用料	103,465	0.7	21,889	0.2	法定外目的税	-	-	-						
手数料	21,895	0.1	-	-	旧法による税	-	-	-						
国庫支出金	1,683,606	11.2	-	-	合計	3,932,329	100.0	10,809						
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-										
都道府県支出金	1,119,814	7.4	-	-										
財産収入	50,968	0.3	23,841	0.3										
寄附金	41,374	0.3	-	-										
繰入金	368,173	2.4	-	-										
繰越金	400,160	2.7	-	-										
諸収入	369,246	2.4	6,692	0.1										
地方債	1,064,361	7.1	-	-										
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-										
うち臨時財政対策債	542,361	3.6	-	-										
歳入合計	15,080,280	100.0	9,272,647	100.0										

区分		平成29年度		平成28年度	
徴収率	現・計	98.0	90.5	98.0	89.2
(%)	年・計	98.3	92.0	98.3	89.9
		97.4	89.1	97.4	88.4

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	2,139,724	実質収支	463,317
病院	627,075	再差引収支	390,928
上水道	147,723	加入世帯数(世帯)	6,574
工業用水道	-	被保険者数(人)	11,699
交通	-	被保険者	107
国民健康保険	355,333	1人当り	106
その他	1,009,593	保険税(料)収入額	275
		国庫支出金	106
		保険給付費	275

性質別歳出の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額(A)	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	7,116,439	49.5	4,857,871	4,856,052	49.5
人件費	2,461,598	17.1	2,278,215	2,276,454	23.2
うち職員給	1,517,485	10.6	1,349,408	-	-
扶助費	3,102,234	21.6	1,027,049	1,026,991	10.5
公債費	1,552,607	10.8	1,552,607	1,552,607	15.8
元利償還金	1,552,607	10.8	1,552,607	1,552,607	15.8
うち元金	1,425,150	9.9	1,425,150	1,425,150	14.5
うち利子	127,457	0.9	127,457	127,457	1.3
一時借入金利子	-	-	-	-	-
その他の経費	5,831,269	40.6	4,816,710	4,016,077	40.9
物件費	1,714,031	11.9	1,316,504	1,234,797	12.6
維持補修費	236,553	1.6	228,462	228,462	2.3
補助費等	2,234,098	15.5	2,038,821	1,514,113	15.4
うち一部事務組合負担金	1,026,533	7.1	979,933	928,145	9.5
繰出金	1,364,926	9.5	1,086,903	1,038,705	10.6
積立金	47,351	0.3	1,710	-	-
投資・出資金・貸付金	234,310	1.6	144,310	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	1,429,873	9.9	647,988	-	-
うち人件費	28,066	0.2	28,066	-	-
普通建設事業費	1,424,405	9.9	642,520	-	-
うち補助	396,462	2.8	63,505	-	-
うち単独	905,079	6.3	541,951	-	-
災害復旧事業費	5,468	0.0	5,468	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	14,377,581	100.0	10,322,569	-	-

(注釈)

普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

平成29年度 千葉県匝瑺市

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	15,094	14,391	703	693	368	16,718	
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							
250							
251							
252							
253							
254							
255							
256							
257							
258							
259							
260							
261							
262							
263							
264							
265							
266							
267							
268							
269							
270							
271							
272							
273							
274							
275							
276							
277							
278							
279							
280							
281							
282							
283							
284							
285							
286							
287							
288							
289							
290							
291							
292							
293							
294							
295							
296							
297							
298							

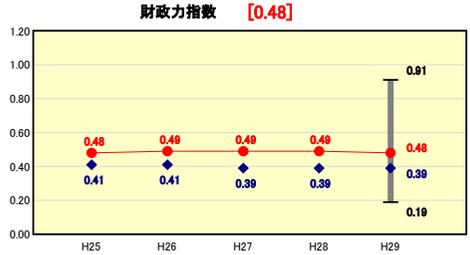
(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人口	37,207	人(H30.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	36,766	人(H30.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	101.52	km ²	実質公債費比率	5.6	%
歳入総額	15,080,280	千円	将来負担比率	27.5	%
歳出総額	14,377,581	千円	市町村類型	H25 I-1 H26 I-1 H27 I-1	
実質収支	693,085	千円	(年度毎)	H28 I-1 H29 I-1	
標準財政規模	9,662,494	千円			
地方債現在高	16,718,232	千円			



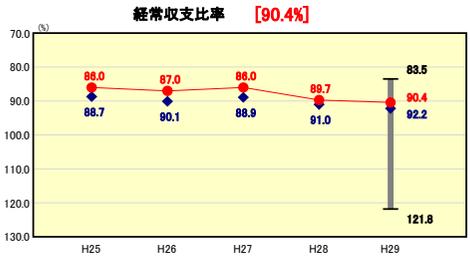
※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※平成30年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。
 ※「定員管理の状況」及び「給与水準(国との比較)」は地方公務員給与実態調査に基づくものであるが、当該資料作成時点(平成31年1月末時点)において平成30年調査結果が未公表であるため、平成29年度の数値については、前年度の数値を引用している。
 ※人口については、各調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

財政力



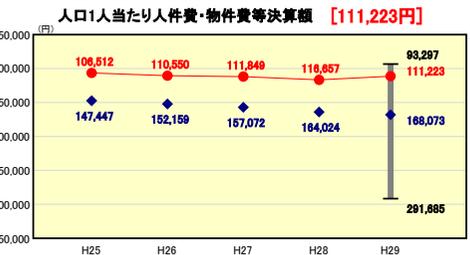
財政力指数の分析欄
 類似団体平均は上回っているが、人口が減少していることや高齢化率(平成30年4月1日現在33.2%)が県平均を上回っていること、市内に中核となる企業がないことなどから財政基盤が弱く、県平均を大幅に下回っている。このため市税を中心に、保育料、給食費等の確実な徴収・収納及び未利用市有地の売却、使用料・手数料の見直し等により自主財源の確保に努める。

財政構造の弾力性



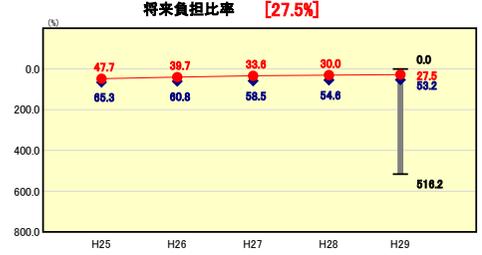
経常収支比率の分析欄
 市税の増加等により、経常一般財源等が3千3百万円増加したものの、公債費や扶助費等が増加したため、経常経費充当一般財源等は1億2百万円増加したため、経常収支比率は0.7ポイント増加した。全国平均、県平均、類似団体平均のいずれも下回っているが、歳入に占める依存財源の割合が大きいことから、今後も自主財源の確保と経常的経費の削減に努める。

人件費・物件費等の状況



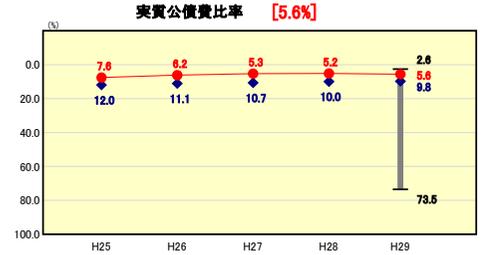
人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄
 類似団体平均と比較して人件費・物件費等の決算額が小さくなっている要因として、ごみ処理業務や消防業務等を一部事務組合で行っていることが挙げられる。一部事務組合の人件費・物件費等に充てる負担金を加味した場合、人口1人当たりの人件費・物件費等の決算額は大幅に増加することになる。今後はこれらの経費の抑制に努める。

将来負担の状況



将来負担比率の分析欄
 地方債の現在高や退職手当負担見込額等の減少により将来負担額は減少し、充当可能基金、基準財政需要額算入見込額が減少したことにより充当可能財源も減少となった。将来負担額が充当可能財源よりも大きく減少したため、将来負担率は2.5ポイント低下し、全国平均、県平均、類似団体平均のいずれも下回っている。今後も市債の新規発行は極力抑制し、財政の健全化を図っていく。

公債費負担の状況



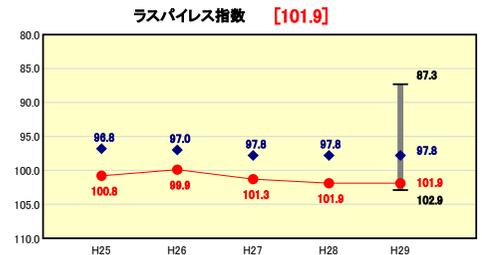
実質公債費比率の分析欄
 平成29年度は、算入公債費等の増加により、実質公債比率の分子はわずかに減少し、標準財政規模も減少した。その結果、単年度の実質公債費比率はわずかに上昇し、3か年平均の実質公債費比率も0.4ポイント上昇したが、全国平均、県平均、類似団体平均のいずれも下回る水準となっている。今後も地方債の新規発行の抑制と、発行にあたっては交付税算入率の高い市債を選択するように努める。

定員管理の状況



人口千人当たり職員数の分析欄
 これまで定員適正化計画に基づき、職員数を削減してきており、人口千人当たり職員数は、全国平均、類似団体平均を下回る水準での推移となっている。今後も第3次定員適正化計画に基づき、職員数の適正化に努める。

給与水準(国との比較)



ラスパイレス指数の分析欄
 ラスパイレス指数は、全国市平均、類似団体平均と比べ高い水準で推移してきている。今後も管理職手当、特殊勤務手当の抑制等、行政改革大綱に基づき、職員給与の適正化に努める。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成29年度

千葉県匝瑳市

経常収支比率の分析

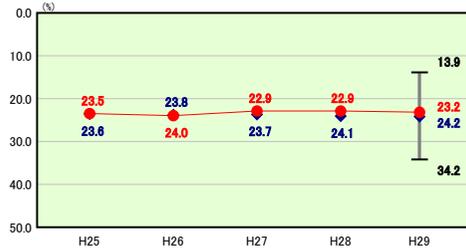
人口	37,207	人(H30.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	36,766	人(H30.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	101.52	km ²	実質公債費比率	5.6	%
歳入総額	15,080,280	千円	将来負担比率	27.5	%
歳出総額	14,377,581	千円	市町村類型	H25 I-1 H26 I-1 H27 I-1	
実質収支	693,085	千円	(年度毎)	H28 I-1 H29 I-1	
標準財政規模	9,662,494	千円			
地方債現在高	16,718,232	千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口を記載。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

人件費

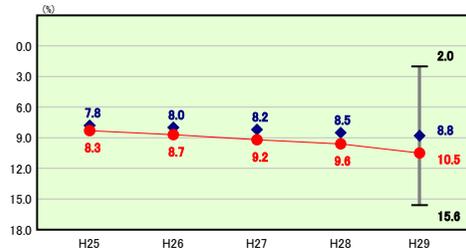
類似団体内順位 53/128 全国平均 25.6 千葉県平均 28.2



人件費の分析欄
 定員適正化計画に基づく職員数の適正化や行政改革による給与の適正化に取り組んでおり、近年、人件費はおおむね減少傾向にある。そのため、人件費に係る経常収支比率は、全国平均、県平均、類似団体平均のいずれもを下回っている。今後も定員管理、給与の適正化に努めていく。

扶助費

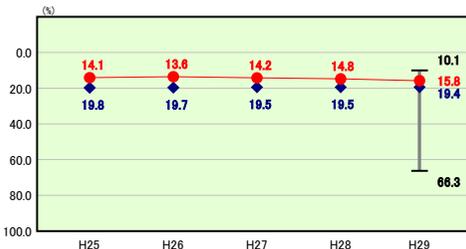
類似団体内順位 98/128 全国平均 12.4 千葉県平均 12.5



扶助費の分析欄
 平成29年度は施設型給付費や生活保護扶助費の増加等により、扶助費が増加した。扶助費に係る経常収支比率は、全国平均、県平均を下回っているものの、類似団体平均よりも1.7ポイント高くなっている。今後も扶助費の増加が見込まれる。

公債費

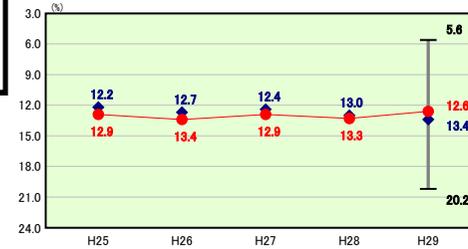
類似団体内順位 27/128 全国平均 16.9 千葉県平均 14.2



公債費の分析欄
 平成29年度の公債費の決算額は、合併特例債や臨時財政対策債の償還額の増等により、前年度と比べて増加したが、公債費に係る経常収支比率は、県平均を上回るものの、全国平均、類似団体平均を下回っている。今後も臨時財政対策債や合併特例債等の市債を借り入れる予定であり、公債費の増加は後年度の財政運営に多大な影響を及ぼすことから、市債の新規発行を極力抑制し、健全な財政運営に努める。

物件費

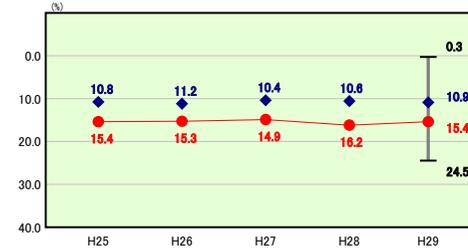
類似団体内順位 50/128 全国平均 14.5 千葉県平均 17.7



物件費の分析欄
 物件費に係る経常収支比率は、住民情報系システムの電算機器リース料の減少等により、平成29年度は前年度に比べて0.7ポイント減少し、全国平均、県平均、類似団体平均を下回る水準となった。今後も、施設の維持管理経費等の物件費の抑制に努める。

補助費等

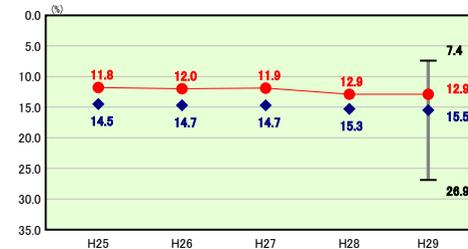
類似団体内順位 109/128 全国平均 10.1 千葉県平均 7.5



補助費等の分析欄
 補助費等に係る経常収支比率は、平成29年度は前年度に比べて0.8ポイント減少したが、全国平均、県平均、類似団体平均のいずれも上回る高い水準での推移となっている。その要因としては、ごみ処理や消防業務を一部事務組合で行っており、それらの一部事務組合に対する負担金、病院事業会計への補助金等が多額になっていることが挙げられる。今後も補助金の交付について適正な金額を検討し、抑制に努める。

その他

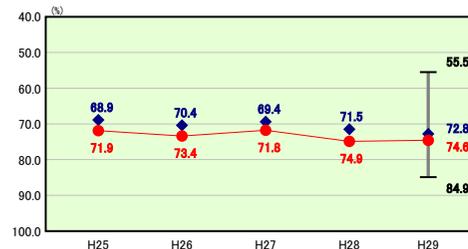
類似団体内順位 19/128 全国平均 13.3 千葉県平均 12.4



その他の分析欄
 その他に係る経常収支比率は、全国平均、類似団体平均を下回っている。その他の中でも、国民健康保険特別会計や後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計等への繰出金が多額を占めている。今後も普通会計の負担を減らしていくように努める。

公債費以外

類似団体内順位 76/128 全国平均 75.9 千葉県平均 78.3



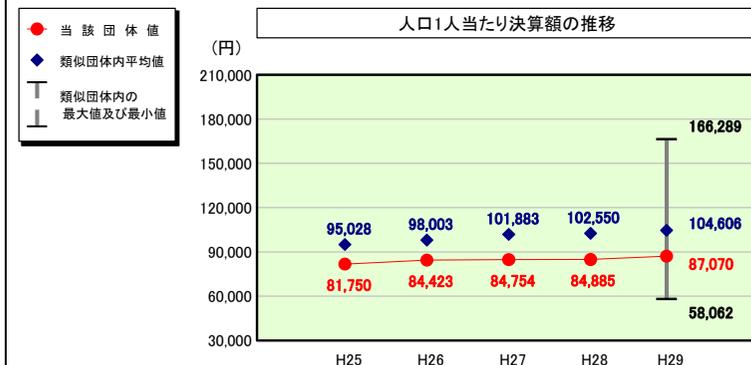
公債費以外の分析欄
 公債費以外に係る経常収支比率は、全国平均、県平均を下回っているものの、類似団体平均を上回っている。今後、病院事業会計への繰り出しや一部事務組合への負担金の増加が見込まれることなどから、さまざまな観点から経費の削減に努めていく。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成29年度

千葉県匝瑳市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	2,461,598	66,160	89,546	▲ 26.1
賃金(物件費)	289,779	7,788	7,518	▲ 3.6
一部事務組合負担金(補助費等)	576,323	15,490	9,181	▲ 68.7
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	19,519	525	1,021	▲ 48.6
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	11	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	166,275	4,469	4,082	▲ 9.5
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	28,066	754	2,228	▲ 66.2
▲退職金	▲ 301,958	▲ 8,116	▲ 8,980	▲ 9.6
合計	3,239,602	87,070	104,606	▲ 16.8

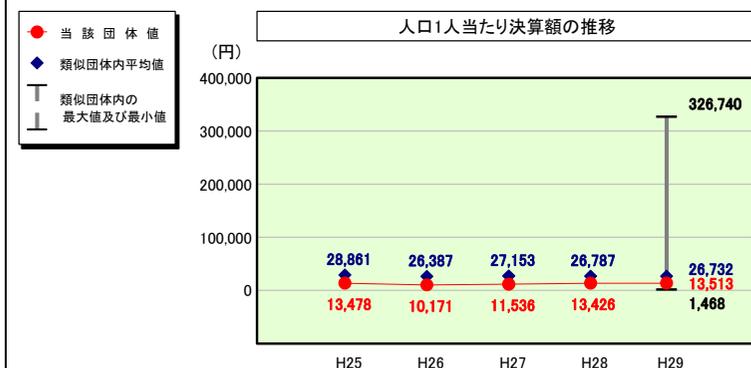
参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	7.39	10.09	▲ 2.70
ラスバイレス指数	101.9	97.8	▲ 4.1

(注) 人口については、各調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

(注) 参考については、地方公務員給与実態調査に基づくものであるが、当該資料作成時点(平成31年1月末時点)において平成30年調査結果が未公表であるため、前年度の数値を引用している。

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

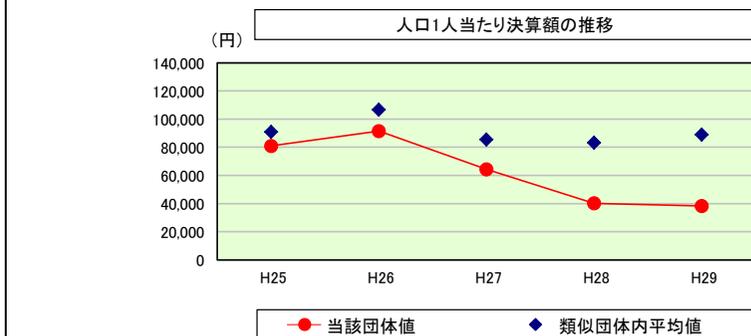


公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	1,552,607	41,729	67,805	▲ 38.5
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	11	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	85,242	2,291	18,110	▲ 87.3
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	63,198	1,699	2,781	▲ 38.9
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	38,329	1,030	1,073	▲ 4.0
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	5	-
▲特定財源の額	-	-	▲ 3,858	-
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 1,236,605	▲ 33,236	▲ 59,194	▲ 43.9
合計	502,771	13,513	26,732	▲ 49.5

※平成30年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H25	3,176,427	80,959	81.4	90,961	20.1	61.3
うち単独分	1,692,197	43,130	60.3	37,720	7.1	53.2
H26	3,542,890	91,418	12.9	106,614	17.2	▲ 4.3
うち単独分	2,369,393	61,138	41.8	45,545	20.7	21.1
H27	2,454,447	64,258	▲ 29.7	85,459	▲ 19.8	▲ 9.9
うち単独分	1,611,775	42,196	▲ 31.0	44,378	▲ 2.6	▲ 28.4
H28	1,516,792	40,224	▲ 37.4	83,280	▲ 2.5	▲ 34.9
うち単独分	852,274	22,601	▲ 46.4	43,123	▲ 2.8	▲ 43.6
H29	1,424,405	38,283	▲ 4.8	88,968	6.8	▲ 11.6
うち単独分	905,079	24,326	7.6	45,482	5.5	2.1
過去5年間平均	2,422,992	63,028	4.5	91,056	4.4	0.1
うち単独分	1,486,144	38,678	6.5	43,250	5.6	0.9

(5) 市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

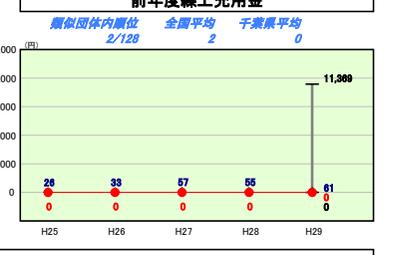
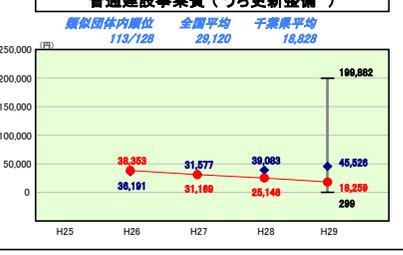
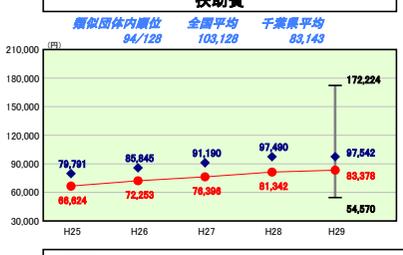
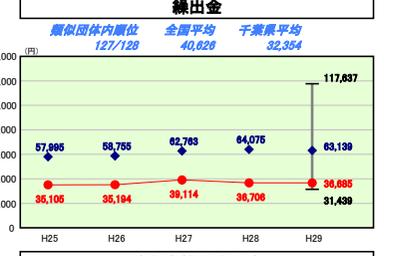
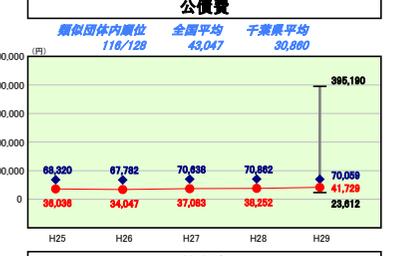
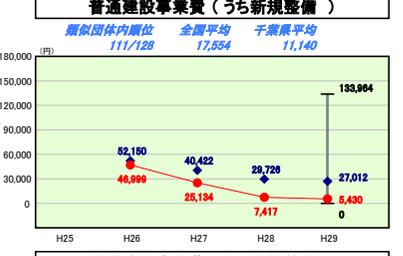
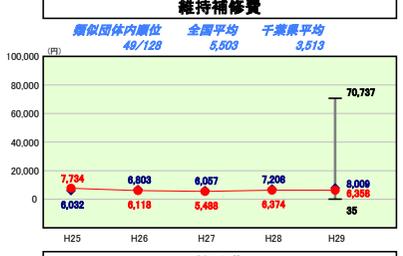
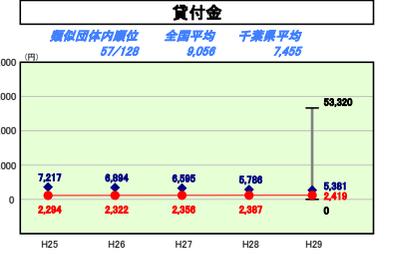
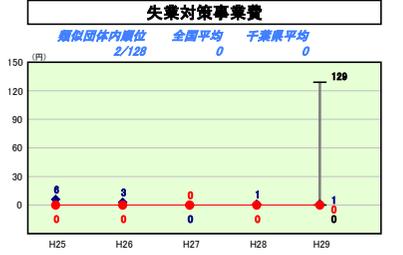
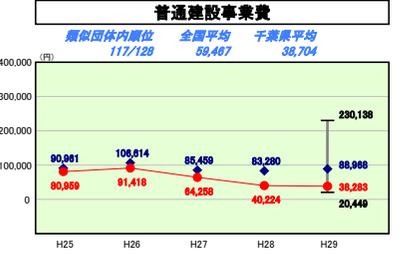
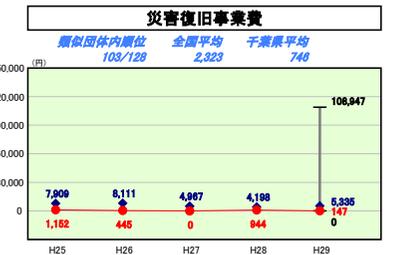
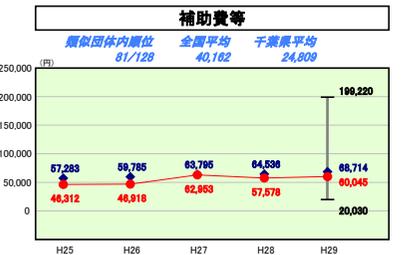
平成29年度

千葉県匝瑺市

人口	37,207人(980.1.1現在)	実収赤字比率	-	%	
うち日本人	36,766人(980.1.1現在)	連結実収赤字比率	-	%	
面積	101.52km ²	実収公債費比率	5.6	%	
歳入総額	15,080,290千円	将来負担比率	27.5	%	
歳出総額	14,377,581千円	市町村類型	H25 I-1	H26 I-1	H27 I-1
実収収支	693,085千円	(年度毎)	H28 I-1	H29 I-1	
標準財政規模	9,662,494千円				
地方債現在高	16,718,232千円				

◆ 当該団体値
 ● 類似団体内平均値
 ⊥ 類似団体内の最大値及び最小値

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



性質別歳出の分析

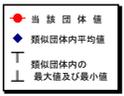
主な構成項目である人件費・公債費・普通建設事業費においては、いずれも類似団体平均と比較して住民一人当たりのコストは下回っている。人件費については、ごみ処理業務や消防業務等を一部事務組合で行っていることや、定員適正化計画に基づく職員数の削減等を進めてきたことにより、決算額が小さくなっている。今後も定員管理、給与の適正化に努めていく。公債費については、類似団体平均を下回って推移してきているものの、県内平均は上回っている。今後も合併特例債や臨時財政対策債等の市債を借り入れる予定であるが、公債費の増加は後年度の財政運営に多大な影響を及ぼすことから、市債の新規発行を極力抑制し、健全な財政運営に努める。普通建設事業費については、減少傾向にあり全国平均、県内平均、類似団体平均を下回っている。普通建設事業費の増加は後年度における公債費の増加につながることから、計画的かつ効率的な事業の実施に努める。

(6)市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

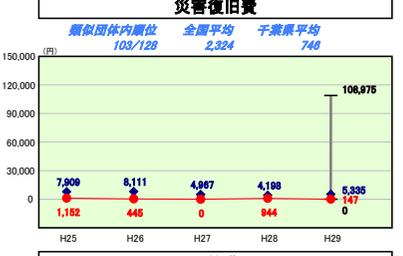
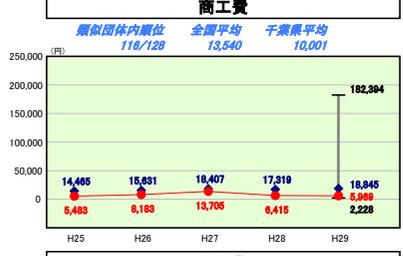
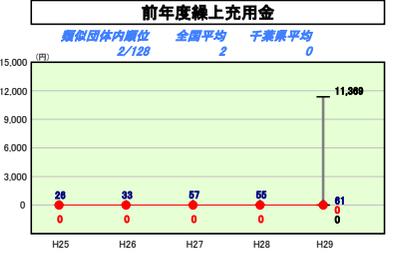
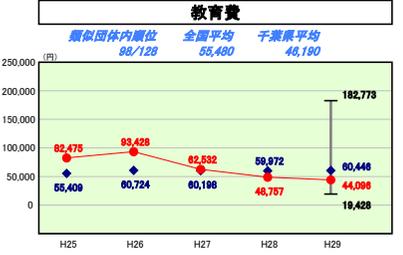
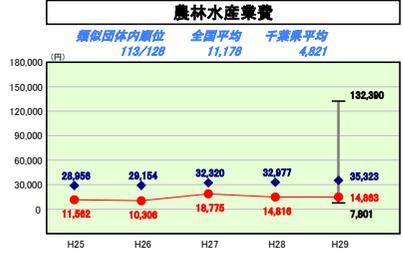
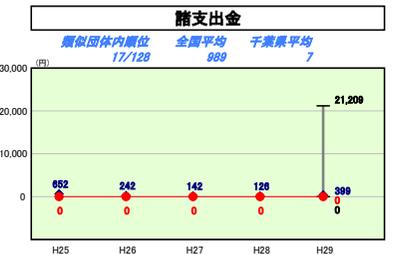
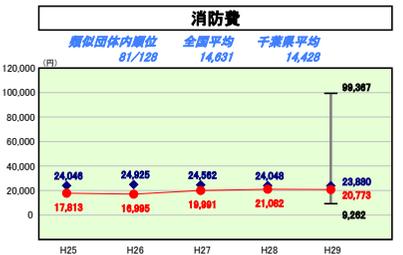
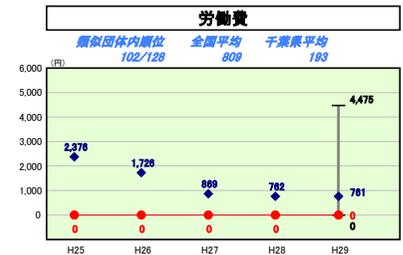
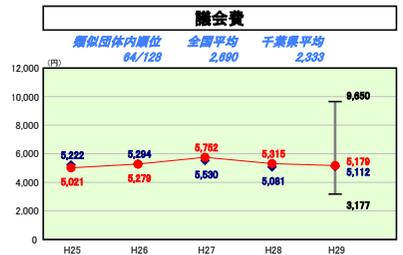
平成29年度

千葉県匝瑺市

人口	37,207人(980.1.1現在)	実質赤字比率	-	%			
うち日本人	36,766人(980.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%			
面積	101.52km ²	実質公債費比率	5.6	%			
歳入総額	15,080,290千円	将来負担比率	27.5	%			
歳出総額	14,377,581千円	市町村類型	H25 I-1	H26 I-1	H27 I-1	H28 I-1	H29 I-1
実質収支	693,085千円	(年度毎)	H28 I-1	H29 I-1			
標準財政規模	9,662,494千円						
地方債現在高	16,718,232千円						



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



目的別歳出の分析値

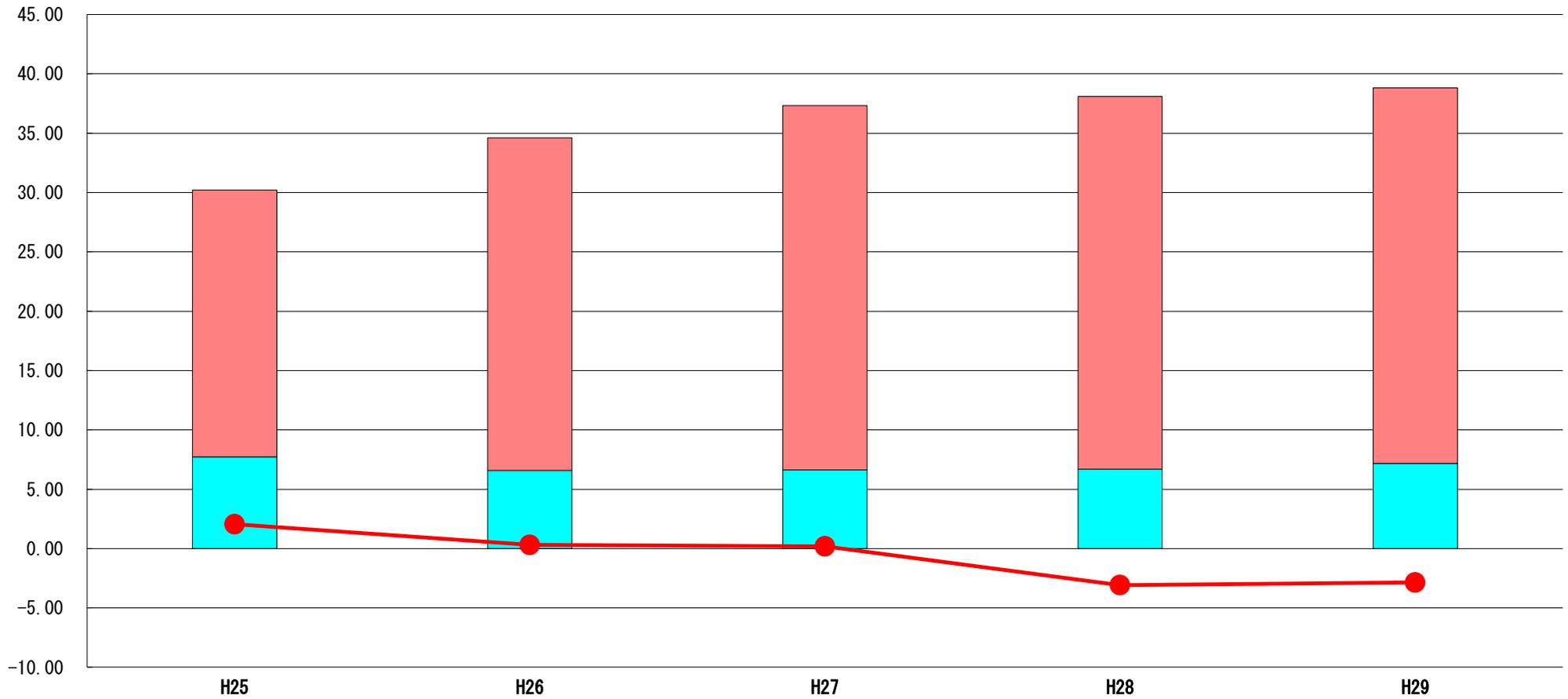
- 民生費は、全国平均、類似団体平均を下回って推移し、県平均は上回る水準となっている。施設型給付費や生活保護扶助費の増等によって増加傾向にあるが、今後は人口減少の影響も出てくるものと思われる。
- 衛生費は、病院事業会計への助成を行っていること等により、全国平均、県平均より上回っている。今後も広域ごみ処理施設の建設に係る負担金の増等により、決算額の大幅な増加が見込まれる状況にある。病院事業会計に関しては、国保匝瑺市民病院経営健全化計画等に基づき、匝瑺市民病院事業の経営健全化を図り、各一部事務組合に対しては行政改革の推進を要請し、一般会計の負担の抑制に努める。
- 土木費は、合併特例事業の実施等によって、決算額は増加傾向にあったものの、枠配分による予算編成の効果等もあり、全国平均、県平均、類似団体平均いずれも下回っている。今後も、必要性や緊急性等について検証を行い、事業の計画的な実施に努める。
- 教育費は、近年、学校給食センター建設事業や学校施設耐震化事業等の実施により、県平均、全国平均を上回って推移してきた。今後、小中学校等のエアコンの整備等が予定されているが、決算額はここ数年よりも低い水準で推移していくものと思われる。

(7) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）

平成29年度

千葉県匝瑳市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

区分	年度	H25	H26	H27	H28	H29
 財政調整基金残高		22.48	28.03	30.72	31.40	31.64
 実質収支額		7.74	6.58	6.62	6.70	7.17
 実質単年度収支		2.05	0.31	0.19	▲ 3.08	▲ 2.86

分析欄

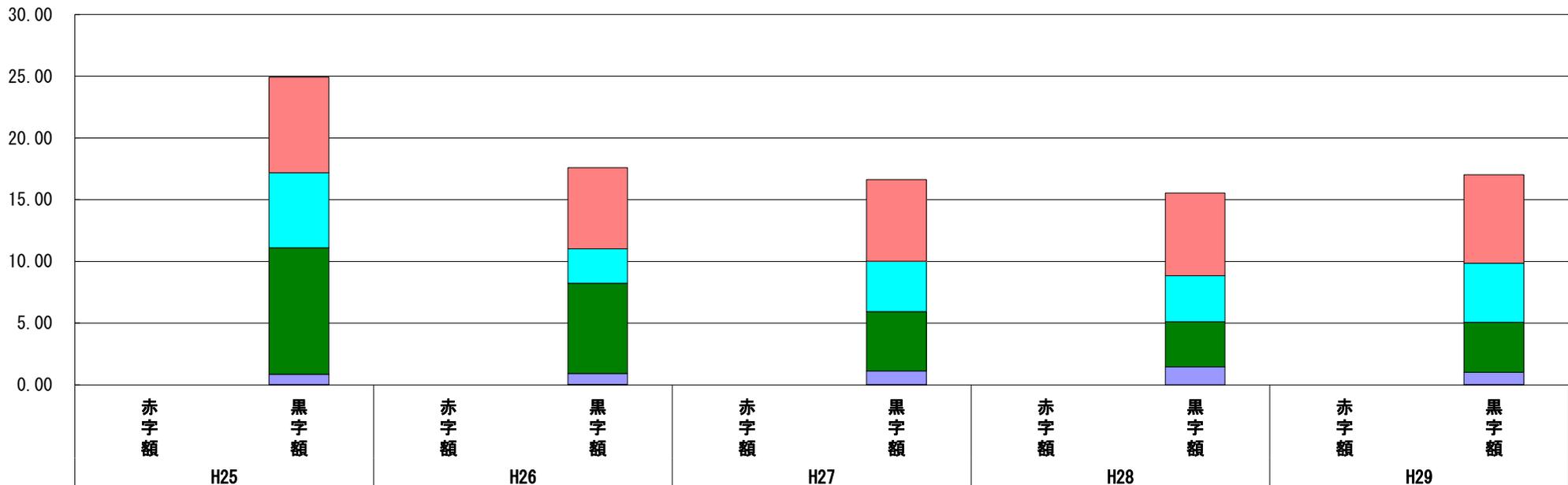
実質収支額が増加し、標準財政規模は減少したため、実質収支比率は前年度から0.47ポイント増加し、7.17ポイントとなった。交付税の合併算定替終了等に備えた財政基盤強化に向けた取り組みにより、財政調整基金の残高が増加してきており、財政調整基金の標準財政規模比は上昇傾向にある。

(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成29年度

千葉県匝瑳市

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

会計	年度	H25	H26	H27	H28	H29
一般会計		7.73	6.57	6.61	6.69	7.17
国民健康保険特別会計		6.09	2.81	4.09	3.74	4.79
病院事業会計		10.24	7.30	4.81	3.65	4.04
介護保険特別会計		0.85	0.89	1.10	1.46	1.01
後期高齢者医療特別会計		0.01	0.03	0.02	0.00	0.01
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		-	-	-	-	-

分析欄

各会計において実質収支額は黒字決算されているため、実質赤字比率及び連結実質赤字比率は計上されていない。当数値は標準財政規模比であり、分母となる標準財政規模は前年度に比べ減少している。一般会計の実質収支額は6億9千万円で前年度に比べ約4千万円増加しており、財政規模に対する比率は前年度に比べ0.48ポイント増加した。病院事業会計は黒字で推移しているが、毎年一般会計からの基準外繰出金を計上しており、一般会計の負担が大きくなっている。今後も、病院事業会計に限らず各事業会計の経営の安定化に努め、一般会計の負担を軽減していくと同時に、財政健全化を進めていく。

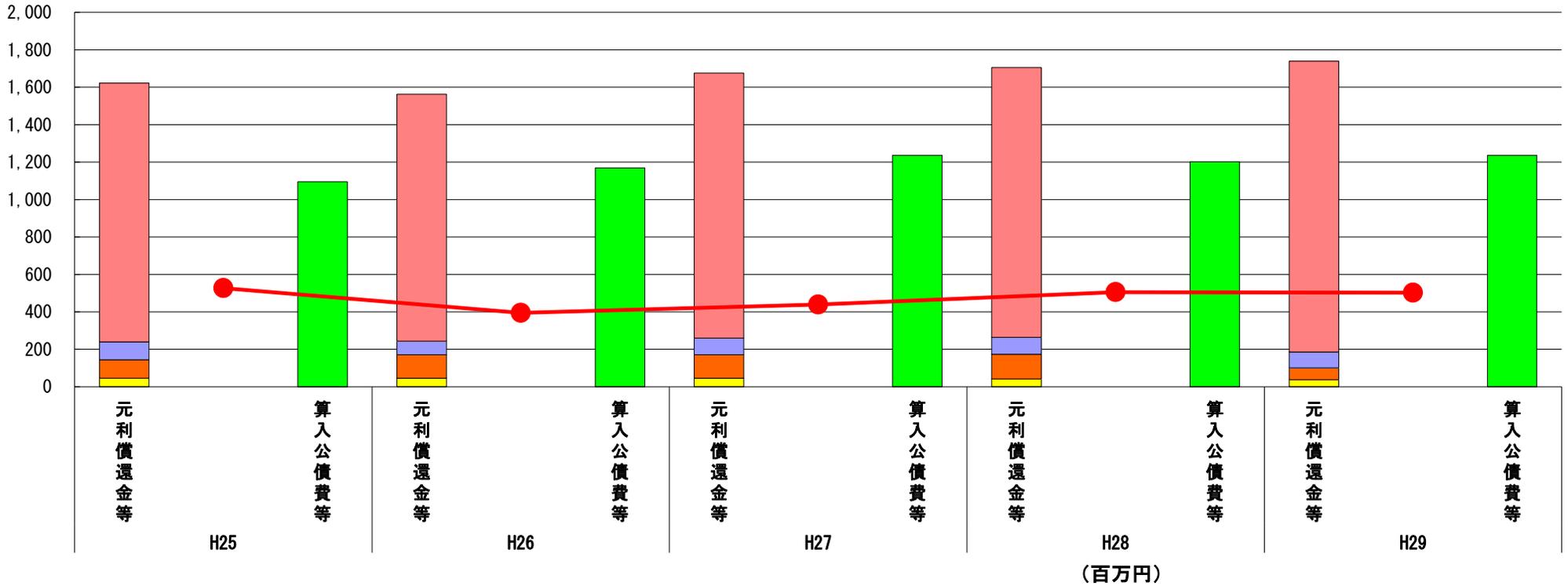
※平成30年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成29年度

千葉県匝瑳市

(百万円)



分子の構造		年度	H25	H26	H27	H28	H29
元利償還金等(A)	元利償還金		1,383	1,319	1,416	1,442	1,553
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		95	73	89	91	85
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		99	125	126	131	63
	債務負担行為に基づく支出額		45	46	45	42	38
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等(B)	算入公債費等		1,095	1,169	1,237	1,201	1,237
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		527	394	439	505	502

分析欄

平成29年度は、組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等が減少したが、一般会計の元利償還金が大きく増加したため、元利償還金等が増加した。一方、災害復旧費等に係る基準財政需要額の増加により算入公債費等も増加した。差し引きで見ると実質公債費比率の分子は前年度に比べわずかに減少した。

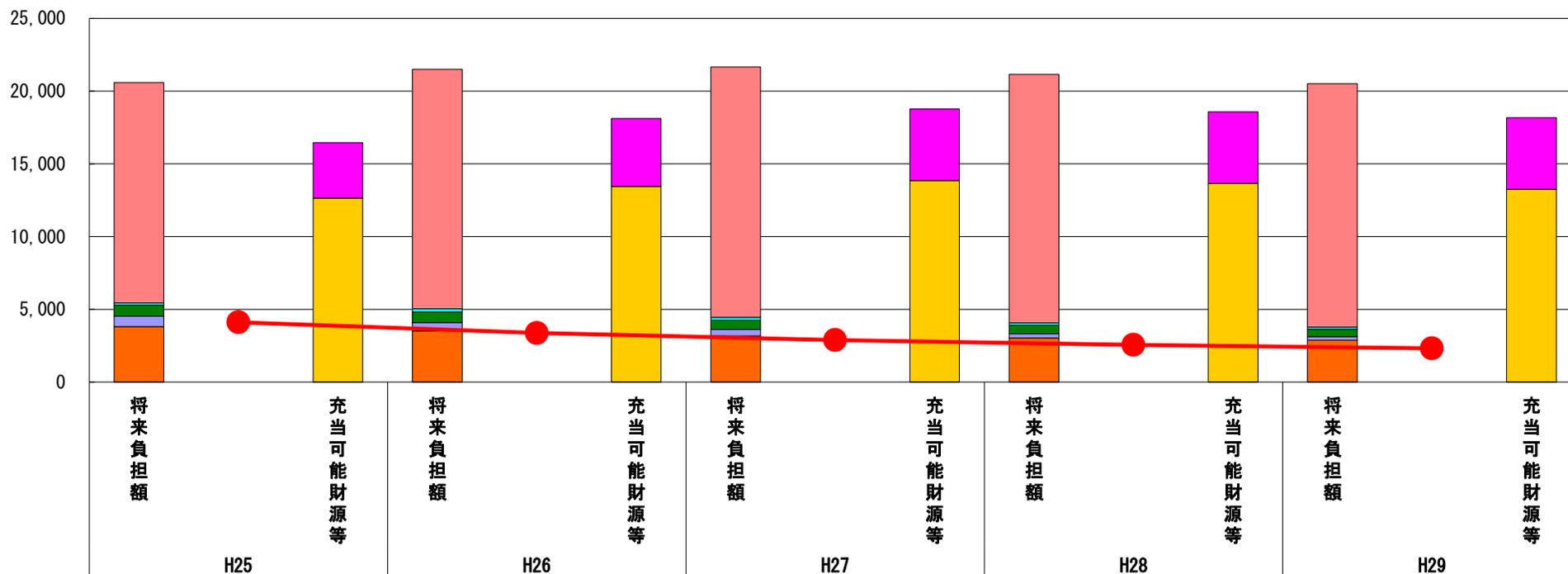
※平成30年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成29年度

千葉県匝瑳市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H25	H26	H27	H28	H29
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		15,130	16,454	17,203	17,079	16,718
	債務負担行為に基づく支出予定額		149	216	192	167	143
	公営企業債等繰入見込額		761	717	641	576	520
	組合等負担等見込額		714	573	428	289	240
	退職手当負担見込額		3,822	3,524	3,186	3,033	2,878
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		3,810	4,667	4,909	4,931	4,930
	充当可能特定歳入		-	-	-	-	-
	基準財政需要額算入見込額		12,654	13,446	13,847	13,651	13,246
(A) - (B)	将来負担比率の分子		4,113	3,371	2,894	2,561	2,323

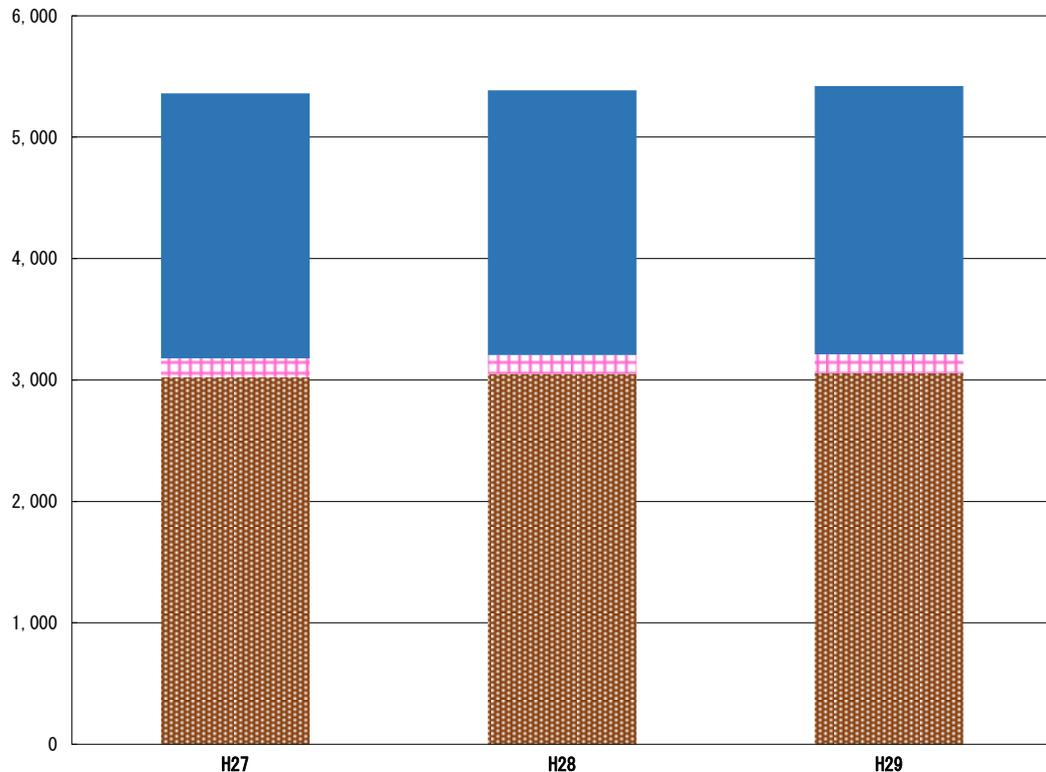
分析欄

地方債現在高、退職手当負担見込額、公営企業債等繰入見込額、組合等負担等見込額、債務負担行為に基づく支出予定額の減少により、将来負担額は減少となった。
 充当可能基金は減少し、基準財政需要額算入見込額も交付税算入率の高い市債の割合は増加したが、地方債の現在高が大きく減少したことにより、減少となり、充当可能財源等全体としては減少となった。
 将来負担額の減少が充当可能財源等の減少を上回り、将来負担比率の分子は減少した。近年、将来負担比率の分子は減少傾向にある。

※平成30年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（市町村）

(百万円)



(百万円)

区分	年度	H27	H28	H29
財政調整基金		3,023	3,051	3,057
減債基金		155	155	155
その他特定目的基金		2,182	2,179	2,209
地域振興基金		1,273	1,277	1,280
ふるさと振興基金		409	424	456
社会福祉振興基金		456	444	444
スポーツ推進基金		27	27	27
東日本大震災復興基金		17	8	2
基金残高合計		5,359	5,384	5,422

平成29年度

千葉県匝瑳市

基金全体

(増減理由)

ふるさと納税寄附金の増加に伴い、ふるさと振興基金への積み立てが増加したこと等により、基金全体としては3千8百万円の増加となった。

(今後の方針)

ここ数年は、財政調整基金や地域振興基金の積立により増加傾向にあったが、今後は財源不足に伴う取り崩しが見込まれ、減少していくことが予想される。

財政調整基金

(増減理由)

主に歳計剰余金を積み立てていることによる増加

(今後の方針)

今後、普通交付税の合併算定替終了等による財源の不足が見込まれ、その際に取り崩して使用する予定のため、減少していく見込み。

減債基金

(増減理由)

基金の運用益を積み立てたことにより表示単位未満で増加

(今後の方針)

経済事情の変動等による市債の償還財源の不足、市債の繰上償還の財源に充てる場合等に備えて残高を維持していく。

その他特定目的基金

(基金の使途)

地域振興基金：市民の連帯の強化及び地域振興の推進
 ふるさと振興基金：歴史、伝統、文化、産業等を活かした地域づくりの推進
 社会福祉振興基金：高齢社会に対応した在宅福祉の向上、健康対策、ボランティア活動その他の地域福祉の推進
 スポーツ推進基金：市民の生涯スポーツの推進
 東日本大震災復興基金：東日本大震災からの復興に資する事業の推進

(増減理由)

地域振興基金：基金の運用益を積み立てたことによる増加
 ふるさと振興基金：ふるさと納税寄附金を積み立てたことによる増加
 東日本大震災復興基金：東日本大震災からの復興に資する事業の財源とするために取り崩したことによる減少

(今後の方針)

地域振興基金：市民の連帯強化及び地域振興の推進に資する事業の財源として取り崩して使用していく予定。
 ふるさと振興基金：地域づくりの推進に資する事業の財源として取り崩して使用していく予定。